

# 【討議項目：九州・長崎 I Rを活かした九州創生の取組について】

## 【九州 I R 推進 P T の開催・検討状況】

第1回（令和元年7月）：I Rを活かした連携策について

第2回（令和元年9月）：中間報告案について

※九州地域戦略会議（令和元年11月） 中間報告

第3回（令和2年3月）：今後の検討の方向性について

※令和2年4月：九州・長崎 I R 区域整備実施方針案を公表  
（I R事業者による九州広域連携への協力義務を含む。）

## 【日本型 I R をとりまく状況】

○政府基本方針について

・当初今年1月公表予定の基本方針が諸事情により、未公表。  
（法律上今年7月26日までには、公表。）

・政府は、区域認定申請のスケジュール変更はしない考え。

○新型コロナウイルスに伴う国内外への影響

・海外の I R 施設も一時閉鎖。徐々に開業に向けた動きあり。

## 【今後の方向性】

○ 中間報告において整理した広域連携の方向性の具体化に向けては、今年度予定している I R 事業者選定の過程や選定後の対話において、事業者との意見交換等を行いながら進める必要がある。

→ 九州 I R 推進 P T の継続をお願いしたい。

＜ I R を活かした九州広域連携の方向性＞

①九州内の広域周遊の促進に向けた連携、受入体制の強化

②グローバル M I C E の九州への誘致拡大と九州観光戦略への貢献

③食材の供給、地産地消の推進

④ I R 事業とのビジネス連携、地域貢献の促進

○ 海外の I R 事業者との関係性の強化に向けて、新型コロナウイルスによる被害に対するお見舞い及び今後の連携・協力について、九州からのメッセージを送付する。

→ 今回の九州地域戦略会議において、別紙メッセージにかかる決議をいただきたい。

## 【九州地域戦略会議からのメッセージについて】

○アメリカ、アジア、ヨーロッパの海外 I R 事業者約20社へ送付。（英訳文を添付し、事務局から現地へ送付。）

○新型コロナウイルスの影響へのお見舞いとあわせて、今後の事業者選定も見据えて九州が期待していることを含む内容とする。

九州地域戦略会議から I R 事業者へのメッセージ  
～ I R 事業者へ期待すること～

新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業活動の自粛要請等により、I R 事業を取り巻く経営環境は大変厳しい状況にあるものと憂慮しております。心からお見舞い申し上げます。

感染症の拡大は、外出や交流イベントの制限を通して、日本だけでなく、地球規模での移動や交流機会の喪失など、世界経済や人々の心にも大きな影響を及ぼしています。しかし、我々は如何に厳しい状況下にあっても、次代を担う子どもたちに力強い元気な未来を引き継ぐ使命があります。

そのためには、ひとつの企業、ひとつの自治体の枠を超え、互いの持てる力を結集し、未来のビジョンを描き、その実現のための戦略を立て、着実に実行していくことが必要です。

私たちは、これまで九州各県の知事や経済団体の代表が参画する九州地域戦略会議において、九州はひとつの理念のもと、連携・協力して、様々な取組を実践してきました。特に、成長著しい東アジアに日本で最も近いという九州の立地特性や九州が持つ歴史、文化、自然等の特徴を活かしながら、観光産業の活性化をはじめ、日本創生を九州が先導すべく、様々なプロジェクトを推進しています。

その一つとして、九州への I R 導入に向け、国内でもいち早く研究に着手し、九州の総力を挙げて、実現を目指しているところです。

今後、予定されている政府の基本方針の公表に引き続き、具体的な I R 事業計画の策定が進められることとなります。九州への I R 導入に際しては、以下の内容にもご留意いただきながら、検討を深めていただき、世界の人々が九州を訪れ、感動し、多様な交流が生まれ、心がときめく。そして、観光が振興し、経済が活性化し、世界が元気になる。九州から創出する躍動に向けたうねりを一緒に創り上げていきたいと願っています。

1. 日本を代表する温泉地をはじめとする九州の多彩な魅力を世界に発信するとともに、観光関係者と連携し、九州内の周遊を促進し、九州全体の活性化を実現。
2. 温暖な気候や海流に恵まれた九州の豊富で上質な食材等の世界への発信に向け、I R 区域内の各施設で使用する食材等の調達について、九州内から積極的な調達を実施。
3. 九州を元気にする企業間の連携や地域づくり等へ積極的な関与・協力を実施。

令和 2 年 5 月 22 日

九州地域戦略会議 共同議長 広瀬勝貞  
共同議長 麻生 泰